

本当にあった高校生レストラン!!

こんにちは
津久見高校です



津久見高校では、テレビドラマにもなった「高校生レストラン」を仕掛けた岸川政之氏による講演会と商業科生徒との懇談会を行いました。以下は会計システム科3年の小金絵美さんの感想です。



私はテレビで「高校生レストラン」を見ていたので、その基になった方が来校して講演していただけてとてもうれしかったです。

私たちと同じ高校生が、料理を作ったり、ホールスタッフをしたりと、レストランを切り盛りしていることを知って、とてもすごいと思いました。それと比較して、同じ年なのに、今の私は何をしているのだろう・・・と不安と焦りで一杯になりました。

しかし、そんな私たちに岸川さんは「津高生の可能性は無限大です。」と何度も何度も繰り返し教えてくれました。その言葉で、私も何か学校のみならずと企画を考えて実行してみようと勇気が出てきました。また、売れる商品は、そのネーミングとパッケージが大きく関係することも教えていただきました。自分の経験からもインパクトのある名前の商品は手に取るし、パッケージで商品を選ぶこともあったので、改めて商品開発の奥深さを知ることができました。

12月6日(土)に、私たち商業科3年生の集大成である「オラ!フェスタ ~コラボの街の祭典~」を臼杵市で開催します。津久見物産販売やゲーム、高校生カフェ、スタンプラリーやバンド演奏、妖怪ウオッチ体操など様々な企画を考えています。今の私は、今回の講演会や懇談会での岸川さんのアドバイスのおかげで、この企画を大成功させたいと強く思っています。 会計システム科3年 小金絵美



このイラストは、会計システム科3年 安藤詩織さんの作品です。



津高生 One By One

川下 留菜(るな) : 普通科2年、佐伯城南中・鶴岡小出身 フェンシング部マネージャー
 廣戸 彩耶(さや) : 会計システム科1年 第一中・津久見小出身 フェンシング部マネージャー
 真田茉弥佳(まみか) : 総合ビジネス科1年 第二中・堅徳小出身 フェンシング部マネージャー

今月は、フェンシング部のマネージャー3名の登場です。彼女たちは、その優れたマネージメント能力から、選手ばかりでなく、顧問からも絶大な信頼を得ています。3人にインタビューしました。

(川下さん:K、廣戸さん:H、真田さん:S、インタビュアー:I)

I : 3人に聞きます。フェンシング部のマネージャーとなったきっかけを教えてください。

K : はい。私は、フェンシング部に仲の良い友達がいることと、進路志望が人のお世話をを行う仕事なので、少しでも役に立つのではと思ったからです。

H : 私は、中学校では短距離をしていましたが、自分の運動能力に限界も感じていました。津高のフェンシング部は全国でも強豪と聞いていたので、運動が苦手な私でも何かが学べるのではと思ったからです。

S : 私も運動は苦手なのですが、人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいくて、マネージャーをしています。

I : マネージャーをしていて、一番うれしかったエピソードを教えてください。

K : はい。7月19日から21日に行われた、「九州高校宮崎合宿」でのことです。この3日間は、日差しが肌に突き刺さるほどの真夏日で、練習中の水分補給などが欠かせない酷暑でした。私たちは本校の選手ばかりでなく、合宿に参加していたすべての選手の分も準備し、選手を支え続けました。合宿が終了して帰宅準備をしていた私たちを、他校の監督が呼び止め、「あなたたちの献身的な補水のおかげで、選手たちにも大きな怪我や病気もなく終了できた。こんな立派な動きをするマネージャーは見たことがない・・・」と私たちに言ってくださいました。このときばかりは、さすがにうれしくて3人とも思わず頬に熱いものが流れました。

I : いい話ですね。これからも、それぞれの役割で頑張ってください。



津久見高校からのお知らせ : 本校では、地域に根ざした学校づくりを進めております。

ご意見やご要望等があればご連絡ください。

☎82-4126